

CSJ化学フェスタ・産総研特別企画 触媒技術で拓く化学産業の未来

—日本を元気にする産業技術会議シンポジウム—

日時 2013年**10月22日(火)** 午後1時～午後5時

会場 **タワーホール船堀 2階・D会場 (福寿)**
東京都江戸川区船堀 4-1-1 [ホームページ] <http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

- 主催：公益社団法人日本化学会、独立行政法人産業技術総合研究所、日本を元気にする産業技術会議
- 後援：日本経済新聞社

【開催の趣旨】

産総研が主催する日本を元気にする産業技術会議（後援・日本経済新聞社）では、昨年7月に「日本の競争力を創造する化学産業の将来展望」と題して我が国化学産業の位置付けと今後のあり方を議論しました（下記 URL 参照）。今年、我が国化学産業の競争力の源泉であり、常に高い世界シェアを維持している機能性化学部材の製造技術を下支えしている「触媒技術」にフォーカスし、機能性化学部材の分野で今後も日本が優位性を保ち、産業競争力を高めていくための触媒研究はどうあるべきか、何が必要とされているのか議論します。

http://www.aist-renkeisensya.jp/ind_tech_council/symposium/120725.html

シンポジウム論点

1. 触媒研究で化学産業をさらに活性化するには
2. 今世の中になく新しいものづくりに必要とされることは何か
3. 大学、公的研究機関の役割とは

【プログラム (案)】 午後1時開始 午後5時終了 (敬称略)

- 13:00--13:05 開会挨拶 矢部 彰 産総研 理事
- 13:05--13:20 来賓挨拶 茂木 正 経済産業省 製造産業局化学課長
- 13:20--13:50 講演「21世紀の課題に挑戦する触媒研究」
上田 渉
北海道大学 触媒化学研究センター教授、前触媒学会会長
- 13:50--14:20 講演「触媒の進化と有機合成戦略」
鈴木 啓介
東京工業大学大学院 理工学研究科教授、
有機合成化学協会会長
- 14:20--14:50 講演「化学産業界における産学官連携の方向性と実践例」
浦田 尚男
三菱化学 執行役員 経営戦略部門長
- 14:50--15:20 講演「公的研究機関における触媒研究」
佐藤 一彦
産総研 触媒化学融合研究センター・研究センター長
- 15:20--17:00 パネルディスカッション
「化学産業の持続的発展に貢献する触媒研究の在り方」
●パネリスト：茂木、上田、鈴木、浦田、佐藤
●モデレータ：滝 順一 日本経済新聞社 論説委員
- 17:00--17:05 閉会挨拶 中岩 勝
産総研 環境・エネルギー分野副研究統括

参加費
無
料

■参加申し込みホームページ：http://www.csj.jp/festa/2013/guideline_for_registration.html

■シンポジウム事務局：担当/白川 電話：029-861-6052